

【共通事項】

本資料に掲載の事項は、提案にあたって必要な機能等の参考及び留意すべき事項等を示すものである。

I 美術館について

- ・以下は、「福岡アジア美術館 施設拡充等基本計画」(以下「基本計画」という。)に記載の美術館の魅力向上を図るために必要な機能等を基に、想定される主な諸室(室名は仮称)や目安となる想定面積、仕様の案を示したものである。これらを参考としながら、事業の目的及び基本計画の内容を踏まえ、提案すること。なお、趣旨を踏まえた上で、異なる諸室構成、仕様等による提案も可能とする。(詳細は、基本設計を進める中で、本市や関係者との協議により決定する。)
- ・提案にあたっては、特に、基本計画の次の項目を参照し、提案すること。
 - ・第4章第1節 アジア美術館の機能分担
 - ・第5章第3節(2) 拡充先の機能・諸室
- ・本資料の事項に基づき作成したモデルプランを別に示す。なお、モデルプランは特に制約のある地下部を中心に、面積と配置条件を満たすことができる計画が可能かどうかを確認するため、施設構成等のイメージの一例として作成したものであり、これを前提または基本とするものではない。施設の目的や機能を踏まえ、提案者の創意工夫による構成や配置を提案すること。

(I) 展示ゾーン(3,000 m²程度 うちギャラリー 2,000 m²程度)

想定諸室	想定面積	仕様(案)
ギャラリー(大)	1,000 m ² 程度	・ギャラリー(大)は、可動間仕切りにより二分割可能な仕様とすることが望ましい ・ギャラリー(大)および(中)は、一体的な利用が可能な配置とし、最大1,500 m²程度の連続した展示空間を想定 ・ギャラリーの天井高さは、4～5m(可能な限り4.5m以上)とすることを想定 ・温度条件:夏季 22～24℃±1℃、冬季 20～22℃±1℃を想定 ・湿度条件:50%RH±5%を想定 ・空調は、原則 24 時間連続運転を想定 ・ギャラリー等の消火設備は、水を使用しないガス消火を想定
ギャラリー(中)	500 m ² 程度	
ギャラリー(小)	300 m ² 程度	

映像ギャラリー	200 m ² 程度	・映像・音響を用いた展示や上映に対応できるよう、独立した室を想定 ・ギャラリーと近接した配置が望ましい ・控室を含むことを想定 ・温度条件:夏季 22~24℃±1℃、冬季 20~22℃±1℃を想定 ・湿度条件:50%RH±5%を想定 ・空調は、原則 24 時間連続運転を想定 ・ギャラリー等の消火設備は、水を使用しないガス消火を想定
展示準備室	150 m ² 程度	・ギャラリーへの作品搬入前に、額装作業等を行うことを想定 ・一時保管庫から展示準備室を経て、各ギャラリーへ至る円滑な搬出入動線を考慮した配置を想定 ・展示機材庫(展示機材、映像機器等を保管)等を含むことを想定 ・温度条件:夏季 22~24℃±1℃、冬季 20~22℃±1℃を想定 ・湿度条件:50%RH±5%を想定 ・空調は原則 24 時間連続運転を想定 ・ギャラリー等の消火設備は、水を使用しないガス消火を想定
展示ロビー	適宜	・各ギャラリーへの導入部としての機能を想定 ・学校等の団体鑑賞対応として、100 名程度を収容できる空間を確保することが望ましい
一時保管庫・格納庫	550 m ² 程度	・一時保管庫は地上に設けるなど、バックアップ機能を備えた室を想定 ・一時保管庫には前室を設けることを想定 ・格納庫は、借用作品や作品輸送用の箱・梱包資材等の保管を想定し、2室設ける想定。(作品搬出入用エレベーターに近接した配置を想定。1室はギャラリーと同一階に設け、もう1室は地上階の一時保管庫と近接した配置を想定。) ・一時保管庫の天井高さは、概ね3.5mとすることを想定 ・温度条件:夏季 22~24℃±1℃、冬季 20~22℃±1℃を想定 ・湿度条件:50%RH±5%を想定 ・空調は、原則 24 時間連続運転を想定 ・ギャラリー等の消火設備は、水を使用しないガス消火を想定
搬出入口・トラックヤード・荷捌場	適宜	・40 フィートコンテナ車 1 台、または 10tトラック 2 台がシャッターを閉鎖して駐車可能なスペースを想定(貸切バス(大型バス)等の利用も想定) ・作品搬出入用エレベーター(内寸幅 4m×奥行 4m×高さ 3.5m(一部 4.0m)、積載荷重 5t、停止中最大荷扱荷重 7.5)により、一時保管庫等へ円滑な搬送動線を確保することを想定

(2) 学び・体験ゾーン(600 m²程度)

想定諸室	想定面積	仕様(案)
多目的室・ レクチャールーム	400 m ² 程度	・多目的室は、学校等の団体対応として、100 名程度を収容できる空間を想定 (対話型鑑賞時の事前説明、飲食や休憩での活用を想定) ・多目的室は、可動式の観覧席を設け、壁面収納できる仕様とすることが望ましい ・レクチャールームは 50 人程度を収容できる空間を想定 ・柱のない空間構成が望ましい
ワークショップ室	200 m ² 程度	・ワークショップ活動に加え、アーティストの制作スタジオとしての活用も想定 ・学校等の団体対応時の集合場所として利用できるよう、ギャラリーと往来しやすい配置が望ましい ・制作活動に対応するため、水回りを設ける
ボランティア室	適宜	・ボランティアスタッフの控室、荷物置きスペース(ロッカー)等としての利用を想定

(3) その他の美術館活動ゾーン(150 m²程度)

想定諸室	想定面積	仕様(案)
資料室	適宜	・事務室と近接した配置が望ましい
ライブラリー	適宜	・展示鑑賞を目的としない来館者も利用できるスペースを想定
滞在用控室	適宜	・独立した室(2 室)を想定 ・事務室と近接した配置が望ましい

(4) にぎわい・集客ゾーン(1,500 m²程度)

想定諸室	想定面積	仕様(案)
エントランス(ロビーを含む)	適宜	- 以下のような空間を想定 ・アートとの出会いを演出する空間 ・人々が訪れたい、立ち寄りたいたいと思えるような魅力的な導入部分となる、視認性が高く、象徴的なエントランス ・地上の公園から地下の美術館へ誘引する魅力的な滞在空間
ミュージアムショップ、イベント等での飲食提供機能等	適宜	・ロビーとあわせ、ナイトコンテンツやユニークベニュー等としての活用も見込める十分な空間を想定

(5) 管理・運営ゾーン(1,100 m²程度)

想定諸室	想定面積	仕様(案)
事務室・ 学芸企画室	450 m ² 程度	・事務室と学芸企画室は、隣接または近接した配置が望ましい ・学芸企画室は、資料室や滞在用控室と隣接または近接した配置が望ましい ・学芸企画室は、作品管理に係る動線を考慮した配置が望ましい ・学芸企画室は、学芸業務用の図書スペース(閉架図書約5万冊を想定)を設けることを想定
その他、管理・運営に必要な諸室	適宜	・応接室(2室)は、VIP来館時の利用を想定し、一般来館者動線と分離するなど、動線及び設えに配慮した計画を想定 ・会議室は120 m²程度を想定し、可動間仕切り等により2分割できることが望ましい ・必要に応じて、ロッカー、トイレ、給湯室、役員室、倉庫、運営スタッフ控室、警備室、サーバー室、防災センター等の配置を想定

(6) ユニバーサル関連の諸室 200 m²程度

想定諸室	想定面積	仕様(案)
ユニバーサル関連 諸室	200 m ² 程度	・医務室、授乳室、キッズコーナー、カームダウンスペース等の配置を想定

(7) その他

- ・「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」に基づき、必要な駐車場(車椅子利用者用、荷さばき用、自動二輪車用)を適切に設ける。天神中心部における交通混雑緩和を図る取り組みを踏まえ、一般用の駐車場については、隔地での確保を基本とする。
- ・旧警固公園地下駐車場と周辺施設との間には、現在、地下1階レベルにおいて既存の接続が確保されている。
地下接続のあり方については、関係者との協議が必要となることから、本プロポーザルにおける提案の対象外とする。
なお、基本設計の実施に当たっては、必要に応じて設計条件等の整理・調整を行うものとする。

2 公園について

提案にあたっては、特に、「基本計画第5章第3節(1)地上利用計画③公園等との連携の考え方」及び以下に留意すること。

- 周辺施設との回遊を促進するため、公園全体を多方向につなぐ動線を確保すること。
- 災害時等の都心部における一時避難の場所、活動の拠点として、まとまった広場を確保すること。
- 安全・安心を確保するために、公園内を見通せ、死角をできる限り減らすような配慮をすること。
- 「福岡市みどりの基本計画」や「福岡市都市緑化マニュアル」を踏まえ、現状以上の緑地を確保すること。
- 「都心の森 I 万本プロジェクト」を踏まえ、既存樹木に配慮するとともに、見通しを確保した上で、現状以上の高木の数を確保すること。
- その他便所などの公園施設については、「3 既存機能の継続について」を参照すること。

3 既存機能の継続について

既存機能（駐輪場、安全安心センター、喫煙所、その他公園施設等）の継続を前提とした、公園の魅力や利便性の向上と、美術館の意匠性を両立した空間計画を提案すること。

<駐輪場について>

駐輪場については現位置のままを想定している。

<安全安心センターについて>

安全安心センター（天神警部交番、地域防犯活動支援施設）については、アジア美術館の施設拡充と一体的な視点から検討を行うこととし、当該施設の移設を含めた計画についても提案の対象とすることができるものとする。

提案にあたっては、以下に留意するとともに、公園や周辺地域の治安維持、及び天神警部交番のセキュリティ確保等の観点を踏まえ、施設配置や動線の考え方について総合的に検討すること。

（天神警部交番について）

- 現交番設置場所と同様に顕示性及び勤務員の機動性を確保できる場所であること。
- パトカー、来訪車両を駐車するための十分な駐車スペースと強度があること。
- 現交番と同規模（約 140 m²）の計画であること。

（地域防犯活動支援施設について）

- 現施設と同規模（約 30 m²）の計画であること。

<喫煙所について>

喫煙所については、公園全体の施設配置と一体的に検討するため、必要に応じて移設を含めた配置計画を提案すること。

なお、喫煙所の位置、規模、仕様については、基本設計の実施過程において、関係機関等との協議を踏まえ決定する。

4 工事費について

美術館、公園の魅力向上や公園との一体的な活用等の観点から、公園や既存機能の改修、移設等を含む提案は妨げるものではない。ただし、実施の可否や具体的な取扱い、配置、規模及び機能の詳細等については、基本設計の実施過程において、関係機関等との協議を踏まえ決定するものとし、その費用は、目安となる工事費（参考値）※には含まれていない。

※旧警固公園地下駐車場の改修に係る公園部分の撤去及び復旧費用は含んでいる。